

長崎市版 DMO 研究会 第 1 分科会 第 1 回議事録 (要約)

1. 日時 平成 29 年 10 月 14 日(土) 13:30~17:00
2. 場所 アマランス第 3 会議室
3. 参加者 アドバイザー：DMO 推進機構 大社代表理事
専門委員：長崎経済研究所 小川社長
長崎大学経済学部 村田教授
長崎経済同友会 平松副代表幹事
長崎国際観光コンベンション協会 村木副会長
事務局：長崎市 観光推進課 濱田課長、浦川係長、松山
交流拡大推進室 長瀬次長
長崎国際観光コンベンション協会 外園本部長、川崎統括部長、
寶珠統括部長、森下部長、野田マネージャー
4. 資料 資料 1 長崎市版 DMO 形成のキックオフに向けて
資料 2 日本版 DMO 形成・確立計画
資料 3 長崎市版 DMO インバウンド戦略 (ダイジェスト版)
資料 4 平成 28 年長崎市観光統計
資料 5 日本版 DMO 登録手続きの流れ
資料 6 観光立国ショーケース実施計画
資料 7 観光振興による地方創生 (大社氏：意見交換会プレゼン資料)
資料 8 長崎市観光振興計画 2020
資料 9 長崎市の現状 (データ編)

5. 主な議事内容

(1)分科会の目的

- ・この第 1 分科会のゴール (目的) は、12 月 17 日 (日) の長崎市版 DMO キックオフフォーラムに向け、長崎市観光の目標・ビジョン、DMO の機能・役割・ミッション、成果目標 (KPI)、成果等の説明責任、人材の在り方等といった DMO の基本フレームについて議論し、決定する。
- ・他に 2 つの分科会があり、第 2 分科会では財源をどのようにするか、第 3 分科会では官民連携・地域連携、官官連携をどうするかを議論する。

(2)主な議論

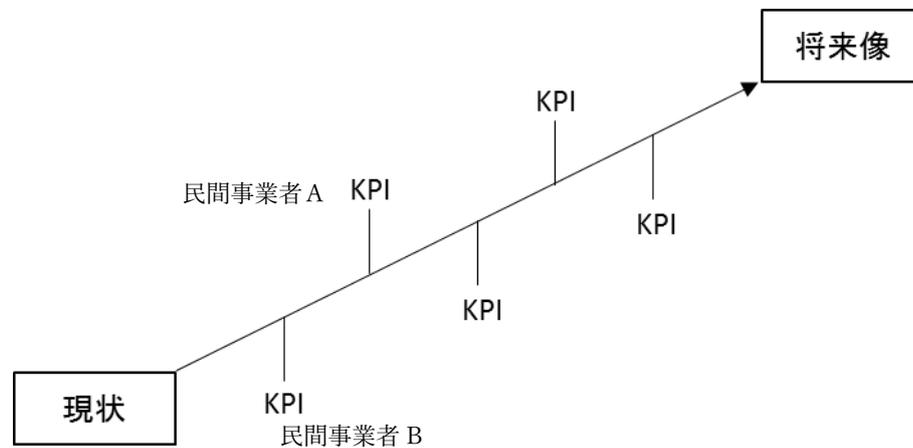
①決定事項

- ・ DMO の必要性については、人口減少による経済の減退のため、交流の産業化で長崎創生を図ること。
- ・誰のための DMO かについては、地域のため (地域住民+事業者) である。特に次世代、若者。
- ・コンセプトについては、住む人が誇り、誰もが訪れたいまち。

- ・DMO の役割、機能については、来訪者を呼び込み、受け入れる仕組みを作ること。
優先順位 ①国内 ②インバウンド ③MICE
- ・KPI 候補項目としては、来訪客数、来訪客(国内外)延べ宿泊者数、来訪客消費額、消費単価、来訪客満足度、再訪率（リピーター率）、域内調達率、雇用者数（閑散期対策）。

②次回以降の検討事項

- ・KPI の数値候補が列挙されたため、どの指標を重視するか、KPI の具体的数値目標を検討する。ただし、まずは、将来像の検討が必要。行政、事業者、団体、市民が共有できるような将来像の設定が必要である。
- ・その将来像に向かって、行政や民間事業者、市民がそれぞれの KPI を設定し、誰がいつまでに、何をするかを定める。



以上